

かんじ

漢字（ようす②）

たしかめ いっしょに やってみよう（2もん）

きょうの
めあてようすの漢字「^{かんじ}軽・^{かる}重・^{おも}真・^ま平」を読んで書こう

きょうの漢字

軽

音 ケイ

訓 かる（い）

かる けいしょく
軽い・軽食

重

音 ジュウ

訓 おも（い）

おも たいじゅう
重い・体重

真

音 シン

訓 ま

ま しゃしん
真ん中・写真

平

音 ヘイ

訓 たい（ら）・ひら

たい へいき
平ら・平気

いっしょにやってみよう

れい 「おもい石」の「おもい」は？

① かる 軽いのはんたい

② おも 「重い」と書く

③ 答え 重 い

やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 体重をはかる。(2) 真ん中に立つ。(3) 平気な顔をする。(4) 軽食を食べる。

② □に漢字を書こう。

(1) 紙は ^{かる} □ い。(2) 米のふくろは ^{おも} □ い。(3) ^ま □ ん丸の月。(4) ^{たい} □ らな道。

答え 1. (1) じゅう (2) ま (3) へい (4) けい 2. (1) 軽 (2) 重 (3) 真 (4) 平

こそあど言葉^ば①

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

「これ・それ・あれ・どれ」を正しく使い分けよう^{つか}

🔍 こそあど言葉^ば

	もの	場所 ^{ばしょ}	さして言う (～の本)
こ (話す人の近く)	これ	ここ	この
そ (聞く人の近く)	それ	そこ	その
あ (どちらからも遠い)	あれ	あそこ	あの
ど (わからない)	どれ	どこ	どの

🗣️ いっしょにやってみよう

👤 れい 手にもっている本を見せて「()は本です。」

- ① 本は、話す自分の近くにある。 ➡ ② 話す人の近く → 「こ」 ➡ ③ **これ**

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 話している相手^{あいて}の近くにあるものを言うときは？

- ☐ これ ☐ それ ☐ あれ

② 遠くに見える山を見て「()山にのぼりたい。」

- ☐ この ☐ その ☐ あの

③ 場所^{ばしょ}をたずねる。「出口は()ですか。」

- ☐ どこ ☐ どれ ☐ どの

📝 答え 1. それ 2. あの 3. どこ

したことから気持ち^もを読もう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📖 きょうの
めあてしたことから、人物の気持ち^{ぶつ}^もを読みとろう

🔍 お話を読もう

まいは、すいとうのふたを開^あけて、さかさにした。一てきも出てこなかった。
まいは、かわいたくちびるを なめた。

🗣️ いっしょにやってみよう

れい すいとうの中は、どうなっていた？

ステップ ①

「さかさにした」
あとを読む。

ステップ ②

「一てきも
出てこなかった」

ステップ ③

からっぽ

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① このときの まいの気持ち^もに近いのは？

のどがかわいて こまっている



おなかがいっぱい まんぞく

② そう思ったわけになる文を、お話の中から ぬき出して書こう。

③ まいが 先にしたことは？

ふたを開^あけた

くちびるをなめた

答え

1. のどがかわいて こまっている

2. まいは、かわいたくちびるを なめた。

3. ふたを開^あけた

かんじ

漢字（じかん①）

たしかめ いっしょに やってみよう（2もん）

きょうの
めあて

じかんの漢字「昔・始・終・期」を読んで書こう

きょうの漢字

昔

くん
訓 むかし
むかし むかしばなし
昔・昔話

始

音 シ
くん
訓 はじ（める）
はじ かいし
始める・開始

終

音 シュウ
くん
訓 お（わる）
お しゅうてん
終わる・終点

期

音 キ
き かん じ き
期間・時期

いっしょにやってみよう

れい 「むかしむかし」の「むかし」は？

① ずっと前のこと

② 「昔」と書く

③ 答え 昔

やってみよう

できたところまででOK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 昔話を読む。(2) しあいを開始する。(3) 電車の終点。(4) 期間を決める。

② □に漢字を書こう。

(1) □^{むかし}の家。(2) 店が□^{はじ}まる。(3) 本を読み□^おわる。(4) 雨の多い時□^き。

答え 1. (1) むかし (2) し (3) しゅう (4) き 2. (1) 昔 (2) 始 (3) 終 (4) 期

国語辞典の使い方③ 言い切りの形

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

形かたちのかわる言葉ことばを、言い切りの形しやうにして調べよう

まず、たしかめよう

- うごきやようすの言葉ことばは、形かたちをかえて使つかわれる。
- 辞典じてんには言い切りの形しやうでのっている。
- れい：走はしった・走はしらない → 走はしる / 高たかかった・高たかくない → 高たかい

いっしょにやってみよう

れい 「読よんだ」は、辞典じてんでどうひく？

ステップ①

「読よむ・読よまない・
読よんだ」と言う。

ステップ②

文のおわりで
言い切る形しやうは？

ステップ③

読よむ

やってみよう

♡ できたところまででOK

① 「書かいた」を調しらべるときは、どの形しやうでひく？

☐ 書かく

☐ 書かいた

☐ 書かき

② 「さむさむかった」を調しらべるときは、どの形しやうでひく？

☐ さむさむかった

☐ さむさむい

☐ さむさむさ

③ 「およおいで」を言い切りの形しやうにして書かこう。

およいで → ()

答え 1. 書かく 2. さむさむい 3. およおぐ